

そで
袖なくも住み着く街の夏の夜
むなもと
胸元すずし銀恋の女
ぎんこい
ひと

令和七年七月二十四日

大中臣正比呂



銀座七丁目の交差点付近には、資生堂パーラー、千足屋、ライオン・ビア
ホールと、馴染みの店がある。F君の十八番の「銀座の恋の物語」は、
中央通りを少し入った路地の、ムードイな店での物語だろう。
ノースリーブの女とは、めげずに袖に墨付く時を待つばかりだ。